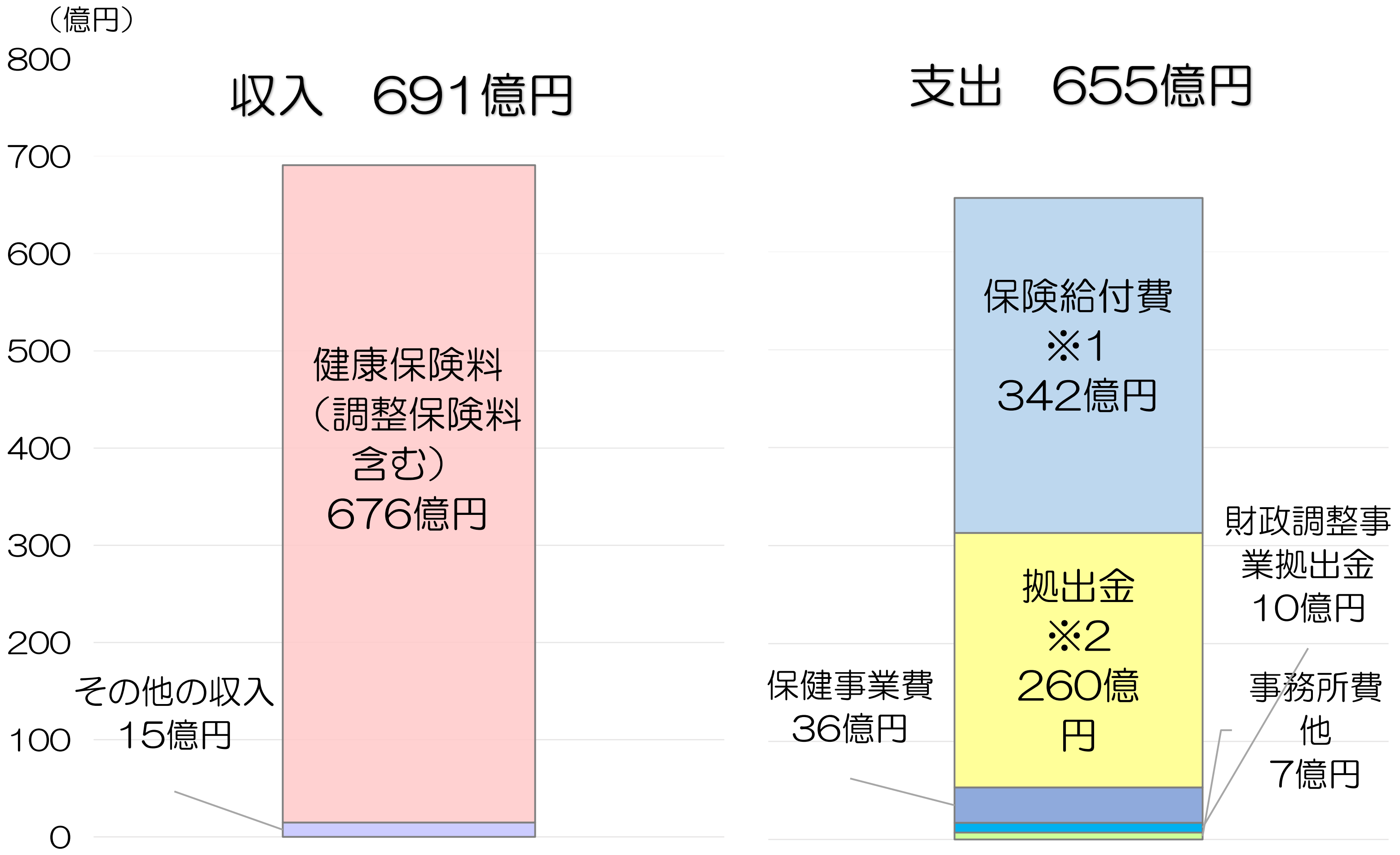
2021年度　富士通健康保険組合決算のご案内

2021年度決算は、収入691億円、支出655億円、収支差引36億円の黒字となりました。総収入額は、前年比＋2億円。支出については、新型コロナウイルス感染拡大による医療機関への受診控えについて一定の戻りが見られたこと等により保険給付費が前年比＋19億円、拠出金は前年比＋6億円等により、支出合計は前年比＋29億円となりました。収支差引額は、2020年度に引き続き黒字となりましたが、黒字幅は減少し、＋36億円（前年比▲27億円）となりました。

健康保険組合としましては、今後も財政を取り巻く状況を注視するとともに、各種取り組みを通してみなさまの健康を支えてまいります。

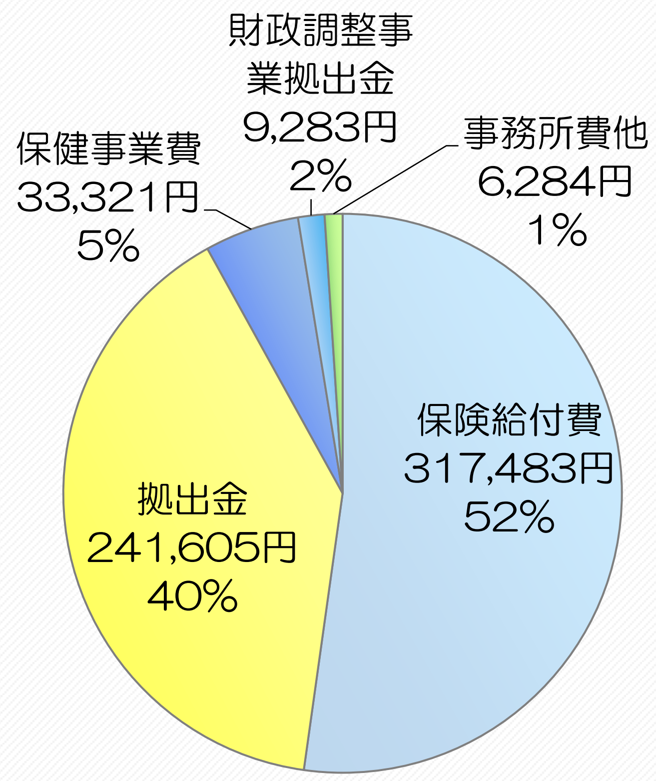
■ 決算の状況



※1 病院で支払う本人窓口負担以外（７割等）や、病気やケガ・出産時等の給付金
※2 全国の高齢者の医療費を支えるために国へ拠出（前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等）

収支差引残高　36億円

【2021年度】
～被保険者１人当りの支出額内訳～
（平均被保険者数； 107,693人）



被保険者１人当り支出額607,976 円

（2020年度 573,807円 ）

■ 2021年度に実施した主な取り組み

1.社員と家族の健康意識・行動の向上を支える施策推進
（１）予防
①全社ウォーキングイベント「みんなで歩活」（Kencom）の実施
②ヘルスアップF@milyの活用（アプリのリリース）
③食育の取り組み（コラム配信、オンラインセミナー等）
④若年層（40歳未満）の生活習慣病対策
⑤オンライン研修等を活用した意識向上
⑥歯科検診の推進ならびに予防歯科への取り組み
⑦喫煙対策
⑧がん健診の効果測定と施策推進
⑨メンタルヘルス施策（電話相談の利用促進）
⑩高齢者介護予防施策（富士通グループ介護相談センター開設）

（２）早期発見・早期治療
①特定保健指導の推進
②重症化予防対策
③女性社員のがん予防（若年層へのアプローチ等）
④配偶者健診 受診率向上施策（LINEの活用等）
⑤特例退職被保険者とその家族の健康保持・増進

（３）ニューノーマルにおける健康維持・推進（スポーツクラブのオンラインサービスの拡充やオンラインセミナー実施）
（４）保養所の活用推進（スマートプラン（ワーケーション）の開始等）

2.富士通グループの健康推進体制・基盤充実
（１）予防
①健康推進関連部門との定期的な会議ならびに施策の推進
②健康ダッシュボード/健康通信簿の加入事業所への提供

（２）早期発見・早期治療
①健康投資管理会計
（健康経営への投資対効果等、取り組みの可視化に向けた評価のあり方等の検討）
②健診のあり方検討（組織再編や業務集約、ダイバーシティなど多様な働き方を踏まえた健診のあり方の検討）

3.医療費をはじめとする各種費用の適正化
（１）療養費の適正化への取組み
（２）医療費通知等WEB化に向けた取組み
（３）被扶養者現況確認の実施